



昔ながらの餅つき体験 (小平ふるさと村)

令和5年12月定例会は、11月28日から12月20日まで23日間の会期で開催されました。

この定例会では、令和4年度の一般会計決算を不認定としたほか、各特別会計・下水道事業会計決算を認定するなど37件の市長提出議案について可決・認定し、1件を閉会中の継続審査としました(各会計決算の詳細は2面に掲載)。議員提出議案は、生産緑地の申請をしている都市農家に対する相続税の負担軽減を図るべく、納税猶予措置適用の拡大の検討を求める意見書を可決しました。請願は3件を採択しました。

また、11月29日から3日間にわたり、27人の議員から64件の一般質問がありました。

12月定例会

令和4年度 一般会計決算を不認定、 各特別会計・下水道事業会計決算を認定

— 令和5年度一般会計補正予算(第5号)などを可決 —

新しい 年を迎えて

このたびの令和6年能登半島地震により亡くなられた方々に謹んで哀悼の意を表しますとともに、被災された全ての方々に心よりお見舞いを申し上げます。

市民の皆様におかれましては、日頃から市議会に対し、ご理解とご協力を賜り、市議会を代表して厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症の位置づけが5類感染症へ移行されたことで、社会経済活動は少しずつ正常化し、地域に活気が戻りつつあると感じております。

また、国際的な原材料価格の高騰や円安の影響などによるエネルギー・食品等の価格高騰は、市民生活・事業活動に今なお大きな影響を及ぼしています。

そして、昨年はワールド・ベースボール・クラシックが開催され、小平市出身の栗山英樹監督率いる侍ジャパニーズが、3大会ぶり3度目の優勝を果たすなど、選手たちの活躍が、日本中に笑顔と勇気を与えてくれた一年でもありました。

そのような情勢の中、小平市議会におきましては、昨年4月の市議会議員選挙により、市民の皆様から信託をいただいた28人の市議会議員が選出され、新たな構成でスタートしました。また、7月と11月には、市民と議会の意見交換会を開催し、皆様から多くの貴重なご意見をいただくことができました。一方、さきの12月定例会では、市制施行後初めて一般会計歳入歳出決算を不認定としました。今後も、開かれた議会を目指すとともに、議会のチェック機能を十分に果たしてまいります。

令和6年度は、小平市第四次長期総合計画基本構想のもと、個別の分野の現状や課題等を踏まえ、4年ごとの中期的な視点における方向性や主要施策等を示す、第1期中期実行プランの最終年度となります。少子高齢化に伴う子育て支援や保育環境の充実、災害対策など、様々な課題に目を向け、市民の皆様様の生活向上に寄与できるよう、議員一同誠心誠意努めてまいります。

結びに、本年が皆様にとりまして
幸多き一年となりますことを心より祈念
申し上げます。新年のごあいさつと
させていただきます。



副議長
中江 美和



議長
松岡あつし

令和4年度決算総括表

単位：円

Table with 4 columns: Category, Income, Expense, Difference. Rows include General Account, National Health Insurance, etc.

Table with 4 columns: Category, Income, Expense, Difference. Rows include Sewerage Business Account, etc.

令和4年度 各会計歳入歳出決算

令和4年度各会計決算の認定議案は、9月定例会最終日に市長から提出され、その後これらの議案を審査するため、一般会計及び特別会計・下水道事業会計の各決算特別委員会を設置しました。

12月定例会初日の本会議では、山田大輔一般会計決算特別委員長と川里富美特別会計・下水道事業会計決算特別委員長から審査報告が行われ、採決の結果、一般会計は賛成少数で不認定とし、国民健康保険事業特別会計は賛成多数で、後期高齢者医療特別会計、介護保険事業特別会計、下水道事業会計は全会一致でそれぞれ認定しました。

一般会計決算に対する各会派の討論(要旨)

賛成 日本共産党小平市議団

新型コロナウイルス感染症や物価高騰への対応を評価

①生活困窮者自立支援給付金、介護・障がい事業所等業務継続支援等を評価する。②子育て世帯や生活困窮者への各種給付金を評価する。③私立保育園開設、出張子ども広場の拡充等を評価する。④女性相談体制の充実等を評価する。⑤たいよう福祉センターでの発達支援総合相談、地域支援等の一元的実施を評価する。⑥脱炭素

賛成 フォーラム小平

物価高騰等に取り組んだ、おおむね適正な予算執行と判断

①様々な手法を駆使した自主財源確保の取組を評価する。第1期経営方針推進プログラム等の効果測定や、全体の検証等は丁寧に分かりやすく行うことを求める。②スクラッチカードキャンペーン、コンビニエンスストア等での証明書等自動交付開始等を評価する。市独自の物価高騰対策等を強く求める。③中央エリア等の更新は市

反対 市議会公明党

市長の目指すものや独自の施策展開等が見えない

①人員バランスを無視する女性管理職登用50%を目指す公約は、誤りを認め改善すべきである。②業務量に応じた職員の適正配置を早急に実施すべきである。③会派が要望した多くの事業の推進は評価するが、中小企業等への経済支援の取組が見えない。④行かない窓口、書かない窓口の推進、お悔やみ窓口設置等は早期実施に向け

反対 政和会

オリジナリティーがない、市政の停滞を象徴する決算である

①実質収支は大幅な赤字で市民や事業者への施策が十二分にできなかった。②トップセールスの成果が見えない。③まちづくりのビジョンがない。民間と連携した施策を進めるべきである。④DXは目に見えない効果がない。外部目録を取り入れた行財政改革等を求める。⑤ふるさと納税の改善を求める。⑥公共施設マネジメントの延べ床

賛成 市議会れいわ新選組

子育て世帯などへの給付金、待機児童数の減等を評価

①子育て世帯や生活困窮者等にに向けた給付金のほか、キャッシュレス決済ポイント還元キャンペーン、介護・障害事業所等への感染拡大防止対策や物価高騰臨時対策、事業継続などの支援は、一定程度の効果があつた。②現在、小川駅西口地区市街地再開発事業や中央エリア、小学校の複合化計画等が進んでいるが、公共施設整備基金

反対 まちづくり市民こだいら

土木費、市債を増やし、妥当性、継続性に疑問を感じる

子育て世帯生活支援特別給付金、臨時特別給付金等の各種支援、外国籍等の児童・生徒を対象とした日本語指導講師の増員、小学校就学前の子どもの対象とした多様な集団活動事業利用支援事業、性的少数者対象の電話相談や交流会の実施を評価する。一方、①土木費が歳出全体に占める割合は、前年度に比べ2・6%の増、市債の発

反対 一人会派の会

市長は目の前の問題に向き合うことを避けている

①市立学校での複数のいじめ重大事態に市長が真剣に取り組まなかった。②補正予算まで組んで実施した、キャッシュレス決済ポイント還元事業により、最高3億6千百万円が市外流出したことになり、経済波及効果の面では著しいマイナスだった。③達成不可能な女性管理職5割の公約を掲げ続け

賛成 生活者ネットワーク

低所得者や物価高騰対策等を行い、堅実な市政運営と判断

低所得者給付金、子育て世帯や障害者施設等への物価高騰対策、SNSによる女性相談等の実施を評価する。なお、①当事者参加の多文化共生プラン策定を求める。②小川駅西口地区市街地再開発事業の公共床に設置される男女共同参画センターに、ジェンダーについて理解する専門スタッフの配置を求める。③公共施設マネジメント

今後の市議会の日程(予定)

開会時刻 原則として午前9時 場所 市役所7階

Table with 3 columns: Date, Session Name, and Notes. Lists dates from 1/30 to 3/14 with session details.

日程、開会時刻等は変更や追加になる場合がありますので、議会事務局までお問い合わせください。

その他の
主な議案

令和5年度一般会計
補正予算(第5号)

本補正予算は、国の物価高騰対策等の補正予算に対応し、低所得世帯支援給付金に1世帯当たり7万円を追加し、合計10万円の支援を行うとともに、3学期から学校給食費の第3子以降の無償化を実施するための経費を計上します。

その他の新規・拡充事業として、学校での医療的ケア児看護支援と保育施設での医療的ケア児保育支援の試行実施、都市計画画道路用地の取得等を行います。補正予算の規模は、歳入歳出それぞれ18億560万4千円増額し、総額を8億68億8千6百82万4千円とします。

財源構成は、国庫支出金、都支出金、繰入金等を増額します。

国民健康保険条例の
一部を改正する条例

今回の改正は、①いわゆる健康保険法等一部改正法の施行に伴い、産前産後期間における国民健康保険税の免除制度を創設する、②一般会計からの法定外繰入金に段階的な解消に充てるために、令和6年度分の国民健康保険税から適用する医療保険分、後期高齢者支援金分及び介護保険分について、所得割額及び均等割額の税率をそれぞれ改定するものです。

施行期日は、①は令和6年1月1日、②は令和6年4月1日です。

指定管理者の指定

12月定例会では、指定管理者の指定についての議案が5件提出され、それぞれ可決されました。これらの議案は、地方自治法及び公の施設の指定管理者の指定の手續等に関する条例の規定に基づき、各施設の管理を行う指定管理者を指定するため提出されたものです。

指定の期間は令和6年4月1日から令和11年3月31日までの5年間です。

なお、選定に当たっては、小平市民文化会館及び小平ふるさと村指定管理者審査委員会、小平市立学童クラブ指定管理者選定委員会、小平市子ども家庭支援センター指定管理者審査委員

会をそれぞれ設置し、書類審査と面接審査を実施しました。

【小平市民文化会館、小平ふるさと村】

◆公益財団法人 小平市文化振興財団

【小平市立七小小学童クラブ第二、小平市立七小小学童クラブ第三】

◆シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社

【小平市立五小小学童クラブ第二、小平市立五小小学童クラブ第三、小平市立花小金井小学童クラブ第二】

◆株式会社明日葉

【小平市立十小小学童クラブ第二、小平市立十小小学童クラブ第三】

◆株式会社明日葉

【小平市子ども家庭支援センター】

◆社会福祉法人 雲柱社

常任委員会の行政視察

常任委員会では、先進市等の事業を調査するために行政視察を行っています。令和5年10月18日～20日及び10月25日～27日に実施した視察先、及び視察事項は以下のとおりです。

総務委員会(10月18日～20日)

- 宇部市(山口県) デジタル市役所推進基本計画について
- 山口市(山口県) 行かなくてもいい市役所プロジェクトについて
- 古賀市(福岡県) 職員の働き方改革の取組について

生活文教委員会(10月18日～20日)

- 松江市(島根県) 産業振興の取組について
- 雲南市(島根県) 教育支援センターの取組について
- 出雲市(島根県) 芸術文化に係る条例について

厚生委員会(10月25日～27日)

- 函館市(北海道) はこだてキッズプラザと子育て支援コンシェルジュについて
- 矢野町(岩手県) 産学官連携によるメディカルフィットネスジムについて
- 仙台市(宮城県) 医療的ケア児・者を対象とした医療型ショートステイ施設について

環境建設委員会(10月25日～27日)

- 神戸市(兵庫県) 道路のリデザイン事業について
- 桑名市(三重県) MaaSの取組の推進について
- 豊橋市(愛知県) バイオマス資源活用事業について

議案等に対する各議員の賛否

12月定例会

会派名略称 政和：政和会(8) 公明：市議会公明党(6) フォ：フォーラム小平(5) 共産：日本共産党小平市議団(3) 生ネ：生活者ネットワーク(2) ()内は各会派の議員数 一人：一人会派の会(2) 市民：まちづくり市民こだいら(1…無会派) れ新：市議会れいわ新選組(1…無会派)

Table with columns for 区分, 番号, 件名, 議決結果, and a grid of 議員名 (政和, 公明, フォ, 共産, 生ネ, 一人, 市民, れ新) with 賛成, 反対, 退場 indicators.

○：賛成 ×：反対 退：退場 ※ 議長は表決に加わりません。

全会一致で議決した議案等(議長は表決に加わりません。)

Table with columns for 区分, 番号, 件名, 議決結果, 番号, 件名, 議決結果. Lists specific resolutions and their outcomes.

市政を問う

一般質問要旨

一般質問とは

議員が市政全般にわたり、執行機関に対し事務の状況及び将来に対する方針等について質問することをいいます。

※QRコードについて

お手持ちのスマートフォンなどからQRコードを読み取ると、各議員の一般質問の録画映像をご覧いただけます。

市議会ホームページの「小平市議会 議会中継」のページに遷移します。

(QRコードは、株式会社デンソーウェブの登録商標です。)



若者等の声を生かすまちづくり／
聞こえを支え生活を豊かに
高橋政美議員
(市議会公明党)

子ども・若者の声が生かされた
小平のまちづくりを



としても、青少年リーダーの意見等聞き、引き続き検討する。

聞こえを支えることで、
高齢者の生活を豊かにするために

質問 ①高齢者への補聴器購入補助について、検討状況は。

②地域の担い手として、青少年リーダー養成講座修了生の活躍の場を増やすべきでは。

市長 ①計画等の策定に当たり、子どもや若者を対象にアンケート調査等を今後も続けるとともに、国が子ども施策の総合的な推進に必要な事項を定めた、子ども大綱策定の動向も注視する。

教育長 ②修了生には、受講生への指導の補助を担当するなどして関わっている。教育委員会



地域経済活性化のための経済対策を／
子どもが学べる環境づくり
橋本孝二議員
(市議会公明党)

地域経済の活性化のために
小平市独自の経済対策を実施しよう



質問 ①国は物価高対策として自治体への重点支援交付金を増額するが、中小企業等の事業者支援への活用を優先しては。

②地域振興の新たな施策導入について、市長のトップセールスの取組と今後の施策展開は。

市長 ①国の推奨事業メニューに基づき中小企業等の支援を含めた必要な対策を検討していく。

②創業セミナーや買い物弱者支援など積極的に新たな施策を導入してきた。引き続き状況に応じて施策展開を図り、機会を捉えて私も事業を周知していく。

子どもたちの誰もが安心して
学べる環境づくりを構築しよう

質問 ①子どもがSOSを出しやすい相談体制の取組と課題は。

②児童虐待防止やいじめ防止対策の取組と課題は。

教育長 ①各校では教職員等に相談しやすい体制づくりに努めるとともに、教育相談室での相談を実施している。一人一人の状況の正確な把握等が課題である。今後も体制づくりに努める。

②全市立小・中学校にスクールカウンセラーの配置等している。一人一人の状況に応じた支援の実施が課題である。今後も関係機関等と連携して取り組む。



ふるさと納税の企画状況／
学校のサポートスタッフ配置状況
岩本 誠議員
(フォーラム小平)

ふるさと納税の
企画状況について問う



質問 ①返礼品拡大に際し、新規登録予定の返礼品数と特徴は。

②2024年度に向けた課題は。

市長 ①10の事業者から21点の提案があった。体験やサービスを提供する返礼品が多いことから、市を訪れるきっかけの一つになることを期待している。

②寄附の可能性を高めるため、ふるさと納税の地場産品基準に適合する返礼品をそろえていくことが課題と捉えており、今後募る取組を継続し、返礼品を増やしていけるよう努めていく。



管理不全建物の対応／多様な
子育てニーズ／子どもの暑さ対策
幸田昌之議員
(市議会公明党)

管理不全建物に対し
適正に対応するために



質問 管理不全建物(ごみ屋敷等)について、地域から相談を受けた際の対応と課題は。

市長 現場を確認し、周辺へ影響があれば訪問により居住者に改善の働きかけ等を行っている。課題は居住者に改善の意思・能力がない場合や、そもそも接触できない場合の対応等である。

市民の多様な子育てニーズに
対応するため

質問 (仮称)こども誰でも通園制度の検討、取組状況は。

市長 国で本格実施を見据えた

試行的事業実施の在り方に関する検討会が開催されている。市では市内の教育・保育施設に情報提供と意向調査を行っており、国等の制度が固まり次第、ニーズに応じた提供体制を整備する。

子どもたちを災害とも
言える酷暑から守るために

質問 暑さ対策にもなる、先進自治体が設置している屋内遊び場を小平市にも設置すべきでは。

市長 子どもが利用できる屋内施設として児童館や子ども広場を開設し、子どもが安全、快適に過ごせるよう温度設定などを適切に管理し、子どもの様子を



西部地域の課題解決を／人と
動物が快適に共生できる社会を
佐藤 徹議員
(市議会公明党)

西部地域の課題の
さらなる解決を目指して



質問 ①中島通りの葉草園東通りとの丁字路部分から、小川公園に至る区間の道路整備を早期に求める声があるが課題は。

②西武バス株式会社小平営業所南側にバス利用者用ベンチを望む声がある。企業等の協力も得て設置に向けて動けないか。

市長 ①現在、近年中の補修工事に向け準備している。課題としては、市有地と民有地が一体となっており、民有地所有者に施工の承諾をもらう必要がある。

②バス事業者から、安全性などの理由で設置する考えはない

と聞いている。企業等の協力は設置後の管理等の観点で難しい。

人と動物が快適に共生できる
社会の実現を目指して

質問 ①10月に野火止公園等で、愛犬団体が中心となり仮設ドッグランが開催された。今後の定期開催に向け支援すべきでは。

②犬のしつけ教室を、年に1度は開催してはどうか。

市長 ①公園利用者等への影響など、実施に当たった課題を整理した上で検討していく。

②3年度、4年度は適正飼養等をテーマに講座を実施している。今後も愛犬団体等との協議を踏まえ実施する。



中央エリアの東側道路の整備等／
補聴器購入費補助事業を
中江美和議員
(フォーラム小平)

中央エリアにおける東側道路の
整備と公共交通について問う



質問 ①中央エリアの東側道路はセックバックして幅広すべきと考えるが、市の見解は。

②新建物供用開始後、イベント等が増え、にぎわいをもたらすと考える。中央エリアの公共交通アクセスを検討すべきでは。

市長 ①開発事業における手続及び基準等に関する条例施行規則を踏まえ東側道路を1.5セックバックする検討の必要があり、周辺の安全対策について交通管理者と協議し設計を進めている。

②道路交通事情等から難しい状況だが、交通管理者などの関

係機関と連携し、利便性の向上を検討するとともに、既存の公共交通機関の周知に努めていく。

再び補聴器購入費
助成事業を実施すべき

質問 ①令和5年度に実施した、高齢者生活状況アンケートの補聴器利用に関する設問の結果は。

②都の高齢社会対策区市町村包括補助事業を活用し速やかに補聴器購入費助成を実施しては。

市長 ①補聴器の利用や聞き取りづらさの有無を尋ねた設問であり、結果は現在集計中である。

②財源の確保等の課題を整理しながら、都の補助事業の活用も踏まえ、実施に向け検討する。



子どもが利用できる屋内施設「子ども広場」の様子



伊藤 央議員
(一人会派の会)

一向に改善されない市役所の労働環境について

質問 ①9月定例会で指摘した都市開発部、教育委員会でのパワーハラスメント疑いの調査は。

②都市開発部のパワーハラスメント疑いに関連して公文書偽造の疑いも指摘したが、調査は。

③聞き取り調査に対し、リーク元を探しているように感じる。

④都市開発部管理職の言動は改善されず、声を荒らげる、私生活を持ち出し叱責するなど、ひどくなっているとの声があるが、どのように指導したのか。

⑤メンタル不調による休職や退職が相次ぎ、退職後の自殺者も出ていられるとされる小平市役所においては第三者委員会を設置し、調査を行うべきでは。



石津はるか議員
(政和会)

東部地域にプールだけでなくスポーツ施設を

質問 ①今回の東部公園プール再整備のコンセプトと背景は。

②スポーツ施設機能を求める市民の声が多くあるが、見解は。

市長 ①老朽化や利用期間が夏季のみと短いことから、維持管理の負担に対する効果が十分発揮できていない課題がある。屋内化し季節問わず利用可能になることで利便性を図り、コンセプトは、多世代が集い、子どもたちが学びあうプールとした。

②多様な種目に応じたスポーツ施設機能を盛り込む考えはないが、利用者増加が見込めるス



山田 大輔議員
(政和会)

医療費適正化と予防医療で市民の命を守る

質問 ①データヘルス計画の効果について平成27年度と直近の対比で、多受診者指導事業の医療費削減効果と累計額は。

②飲み残し薬剤の活用を検討すべきと考えるが見解は。

市長 ①平成27年度約95万円、令和4年度約1千5百万円で、累計額は約9千9百万円である。

②令和2年度から3年度にかけて、東京都では東京都薬剤師会の協力を得て残薬バッグとリフレットを配布し、薬剤師が残薬があると判断した人に服薬の指導や助言を行った。市とし



山崎 由美議員
(フォーラム小平)

GIGAスクール構想のその後

質問 ①児童・生徒は全員タブレットの持ち帰りをして、家庭学習に利用しているのか。

②学級閉鎖時や、登校がしにくい児童・生徒に対するタブレットを使用した支援は。

教育長 ①全校で家庭学習に利用している。授業の予習など、自ら課題を見つけ解決する自主学習に取り組んでいる。

②朝の時間や放課後などに学習者用端末を用いて面談を行うなど、担任と双方方向のコミュニケーションを図るとともに、オンライン授業を実施するなど、



安竹洋平議員
(一人会派の会)

複合化される公共施設に係る条例について

質問 ①小川駅西口新公共施設の設置及びその管理に関する条例を、いつまでに制定するのか。

②小平第十一小学校の(仮称)地区交流センターの設計案が提示された。設計時に他市の条例も参考としたのか。

市長 ①令和6年度中に条例案の提案を行う想定である。

②現在、設計の前提条件となる配置案等の検討段階である。条例については、今後、設計を進める行程と並行し、他市も参考に検討を進めていく。



津本裕子議員
(市議会公明党)

HPVワクチンのキャッチアップ接種と男性の接種について

質問 ①HPVワクチンのキャッチアップ接種の状況は。

②HPVウイルス感染予防のためにも重要とされる男性への接種助成を実施すべきでは。

市長 ①令和4年度は1千2百91人、接種率5・0%、令和5年度は9月末時点で795人、接種率3・0%である。

②任意予防接種である男性のHPVワクチン接種への費用助成の考えはない。東京都が男性の接種に係る市町村への支援を検討する方針を示しているため、その動向を注視し研究していく。



市民の財産である公共施設を積極的に貸し出すべき

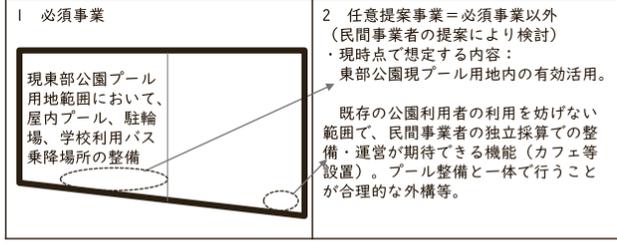
質問 ①施設に附属した駐車場は有料化の理解が得やすいと考え提案しているが、検討状況は。

②これまでに市が積極的に取り組まなかった理由は。

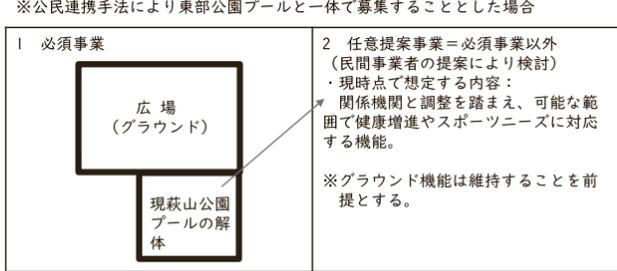
市長 ①現在、駐車場規模が比較的大きい施設等で、順次、駐車場の利用状況の調査を行っている。今後、データを整理し費用対効果の視点を検討していく。

②行政財産の管理運営に当たっては、本来の使用目的に沿って利用してもらうことを第一義とし、目的外の使用は、申請があった場合に許可している。

東部公園プールに関する整備範囲のイメージ



萩山公園プールに関する整備範囲のイメージ



「東部公園プール再整備・萩山公園プール跡地活用に関する基本的な考え方」で示された想定する整備内容



山田 大輔議員
(政和会)

廃止された小学校音楽鑑賞教室を復活させ児童の情操を育もう

質問 ①第二次教育振興基本計画で実施している情操教育は。

②新たな小学校芸術鑑賞教室を実施できないか。

教育長 ①小学校移動教室、中学校の修学旅行など多様な文化等に触れる活動等を充実させている。児童・生徒への情操は教育活動全体で養うものであり、今後も様々な機会を捉えて引き続き情操教育を進めていく。

②学校独自で鑑賞教室等を実施する学校もあり、情操教育は各教科等でも実施しているため、新たに実施する予定はない。



健康寿命のまちづくりのため、医療費削減の数値目標を持つ

質問 ①健康施策は医療費削減等に相関関係があると考えるか。

②次期の第三期データヘルス計画では、医療費削減効果について数値を示すべきでは。

市長 ①国は、健康施策は医療費軽減が期待でき、全ての人の健やかな生活等に寄与するとしている。市としては、国の考え方を踏まえ施策を推進している。

②東京都の方針等に基づき取り組んでいくが、削減目標額の設定については示されておらず、算出方法が確立されていないことなどから設定する予定はない。



安竹洋平議員
(一人会派の会)

いじめ対応でほぼ全く資料を作らないことが許されるのか

質問 いじめ認知からいじめ重大事態の調査が進み報告書作成予定時期に至るまで、学校や教育委員会が当該いじめに関する資料をほぼ全く作成していないことが判明している。小平市公文書等の管理に関する条例上あ

ってはならず、何よりいじめの迅速な解決と再発防止徹底の姿勢としてあつてはならないことだが、市と教育委員会の見解は。

教育長 学校から教育委員会事務局へ対応等の報告があるが、状況や認識の確認のため、事案に応じて記録を作成し提出して

もらっている。保護者等が教育委員会事務局に直接問合せや連絡した事案も、状況により必要に応じて記録を作成している。

市長 小平市公文書等の管理に関する条例の規定に基づき、各実施機関の職員は必要な文書を作成することが求められている。

【掲載分以外の質問項目】
○いじめ被害者を継続的に保護するために
○いじめ重大事態の調査組織構成はどう適切に判断しているか
○体罰の聞き取り調査で教員の証言が優先されている件について
○虐待通報も軽視するような市長への手紙をどう改善するのか



持続可能な消防団を支える施策／市民の安全確保を図る施策



社会環境の変化する中 持続可能な消防団を支える施策について

質問 ①消防団員の高齢化等による人員確保の困難さについて、市の捉えは。また、対策は。

市長 ②平成25年度から実施の消防団協力事業所表示制度の成果は。

市長 ①現在、条例の定員数を満たしており消防団全体の人数に不足はないが、社会環境の変化から団員の確保は厳しさが増している。引き続き、団員に不足が生じないよう、地域の実情に合わせた支援を検討していく。

②現在、4件の市内事業所を認定しており、消防団への入団の促進など、消防団活動の充実



安心して住み続けられる支援を／安心して子育てできる市政を



安心して住み続けられる地域で 住み続けるための支援の拡充を

質問 住宅確保が困難な高齢者は、高齢化社会の進行に伴い、今後さらに増えていくと考えるが、市の見解は。

市長 高齢者が安心して生活を送る上で住まいの確保は重要であり、今後独り暮らし高齢者や高齢者のみ世帯の増加に伴い、保証人がいない、緊急時に対応する親族がないなどの理由で、住宅確保が困難な人が増加するものと想定している。現在市では、高齢者が民間賃貸住宅を探すための支援、及び居住支援法人の案内など住まいに関する情



よりよい学びを保障するための学習支援の在り方



よりよい学びを保障するための 学習支援の在り方

質問 ①ひきこもりの当業者と家族に行っている具体的な支援は。

市長 ①一人一人の状態が異なるため、きめ細かな寄り添った長期的支援が必要である

市長 ①現時点で1千3百台である。

②理念的な条例を制定する考えはないが、その時々々の犯罪傾向に沿った実効性のある対策を、警察と連携し取り組むことが重要と考えている。



未就学児の新たな支援体制／ペアレントメンターによる支援



未就学児を受け入れる 新たな支援体制の構築を

質問 ①未就学児預かりにどのような支援が求められているか。

市長 ①0〜2歳児は教育・保育サービス利用が5割に満たないため、預かりサービスを通じて適切な支援につなぐ必要がある。



投票率を上げるために／小平市の空き家を活用するために



投票率を上げるために 小平市の空き家を活用するために

質問 ①公共施設の複合化で投票所が統合される場合の対応は。

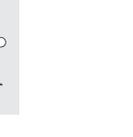
市長 ①平成28年度が314件、令和4年度が515件である。

②特徴は市内に偏りなく分布している等で、課題は一部の空き家期間が長期化し、管理不全度が進行しているなどである。

③所有者等から活用の申出があった場合には検討していく。



選挙管理委員会事務局長



選挙管理委員会事務局長

市長 ①平成28年度が314件、令和4年度が515件である。

②特徴は市内に偏りなく分布している等で、課題は一部の空き家期間が長期化し、管理不全度が進行しているなどである。



市長公約87の政策の実現可能性と市長の政治姿勢を問う



市長公約87の政策の実現可能性と市長の政治姿勢を問う

質問 ①政策60番について、精神障害者保健福祉手帳所持者へのガソリン費補助の検討は。

市長 ②政策77番「ごみ袋全体の料金見直しを行います」については、料金の改定には至らなかったが見直しそのものは行ったので公約達成という認識でよいか。

③87の政策を進めることで、中長期的に市の人口推計及び個人市民税にどのようなインパクトを与え得ると考えているか。

市長 ①他自治体の実施状況について情報収集に努めている。



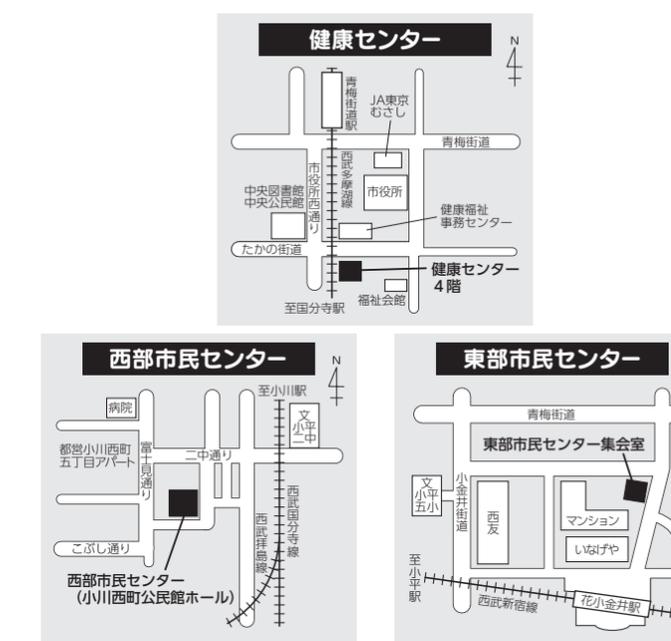
インクルーシブな社会を考える／ごみ対策の現状と家庭用ごみ袋代無償化について



インクルーシブな社会を考える

質問 ①国連の障害者権利委員会が出した、インクルーシブ教育等に関する総括所見改善勧告に対する市の見解は。また、国や東京都からの通知はあったか。

市長 ①法的枠組みの構築等、国主導による取組が必要である。国や都からの通知は特にない。



選挙の際に市内3か所に設置される期日前投票所



小平市のデータ戦略を問う / AI時代の教育を問う (政和会)

小平市のデータ戦略について問う

質問 ①国が示す自治体標準オープンデータセットをベースとしたデータ整備事業の取組は。

市長 ①国が示す自治体標準オープンデータセットをベースとしたデータ整備事業の取組は。②BIツールを活用したデータ分析等による効率的な政策決定等について小平市の取組は。

市長 ①国が示す自治体標準オープンデータセットをベースとしたデータ整備事業の取組は。②BIツールを活用したデータ分析等による効率的な政策決定等について小平市の取組は。

質問 ①教育・校務等での生成AIの活用について見解は。②EdTechの活用に関して、取組状況と今後の方針は。



早期の校庭開放と学童クラブの宅配弁当 / 小平大和線の進捗 (フォーラム小平)

早期の校庭開放と学童クラブの宅配弁当について

質問 ①市立小学校の校庭を始業時間より早く開放する取組について、実施の検討は。

市長 ①市立小学校の校庭を始業時間より早く開放する取組について、実施の検討は。②学童クラブの宅配弁当提供について、試行実施結果の評価と、市として結果の捉えは。

市長 ①市立小学校の校庭を始業時間より早く開放する取組について、実施の検討は。②学童クラブの宅配弁当提供について、試行実施結果の評価と、市として結果の捉えは。

質問 ①国が示す自治体標準オープンデータセットをベースとしたデータ整備事業の取組は。②BIツールを活用したデータ分析等による効率的な政策決定等について小平市の取組は。



小川給水所の現状について / 補聴器購入費助成事業の実施 (日本共産党小平市議団)

小川給水所の現状について

質問 小川給水所では2020年7月に280㍓の高濃度のPFASが検出され取水が停止されているが、現在行われている工事の内容と進捗状況、また今後の取水に関する方針等について、東京都水道局から適切な情報提供が市にされているか。

市長 小川給水所での工事の内容容については、老朽化施設の維持補修工事であり、令和4年9月から工事に着手し、既に完了している。今後の取水方針等については、令和5年11月中旬以降、水源井戸からの取水を再開

質問 ①現在、市内の私道において、地権者が不明のため道路の管理や補修ができない事例は。②公道間の抜け道として利用される私道について、埼玉県新座市が行う準公道化のような手法を行うことで円滑な道路管理が可能になると考えるが見解は。



市内私道管理について / 果樹用花粉の輸入停止への対応 (フォーラム小平)

今後の市内私道管理について

質問 ①授粉に使用する中国産花粉の輸入停止を受け、対応は。②今回の輸入停止で、自家受粉の設備等導入に踏み切る人が多くいるが、市の補助の考えは。

市長 ①都において、令和5年9月に梨花粉の利用状況に関する実態調査が行われ、今後の対応は検討中と聞いている。都の検討結果を踏まえて、JA東京むさしと連携して対応していく。

市長 ①都において、令和5年9月に梨花粉の利用状況に関する実態調査が行われ、今後の対応は検討中と聞いている。都の検討結果を踏まえて、JA東京むさしと連携して対応していく。

質問 ①国が示す自治体標準オープンデータセットをベースとしたデータ整備事業の取組は。②BIツールを活用したデータ分析等による効率的な政策決定等について小平市の取組は。



PFAS汚染の原因究明と対策を / 災害救助事業の復活を / 水口かずえ議員 (まちづくり市民こだいら)

健康を守るためにPFAS汚染の原因究明と対策の実施を

質問 ①特定健康診査の検査にPFASの血中濃度を加えては。②希望に応じて震災対策用井戸のPFAS検査を実施しては。③PFOS等の汚染水漏出が報道された横田基地への立入調査を、国に求めるべきでは。

市長 ①国が生活習慣病に特化した検査項目を定めており、目的にそぐわず追加は適切でない。②地下水のPFOS等は、国と都が主体でモニタリング調査しているため検査の予定はない。③7月に横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会が、

質問 ①授粉に使用する中国産花粉の輸入停止を受け、対応は。②今回の輸入停止で、自家受粉の設備等導入に踏み切る人が多くいるが、市の補助の考えは。



学校施設の運営等は市民等の声の反映を / 市内イベント等 (政和会)

学校施設の整備計画や運営は市民や学校の声の反映すべき

質問 ①(仮称)地区交流センターは社会教育法で定義される公民館施設なのか。②市立小・中学校の施設管理はどのように行っているか。

市長 ①従来の地域センターと公民館の機能を併せ持った新たなコミュニティ施設を想定しており、条例については、教育委員会と連携を図りながら、整理・検討を進めている。

市長 ①従来の地域センターと公民館の機能を併せ持った新たなコミュニティ施設を想定しており、条例については、教育委員会と連携を図りながら、整理・検討を進めている。

質問 ①国が示す自治体標準オープンデータセットをベースとしたデータ整備事業の取組は。②BIツールを活用したデータ分析等による効率的な政策決定等について小平市の取組は。



小川東町二丁目、三丁目の住環境 / 人口増加が予想される小平 (日本共産党小平市議団)

小川東町二丁目、三丁目に変化する住環境と諸課題について

質問 ①小川東町三丁目の土地利用構想に係る調整会の協議内容は。また、市民からの要望に対する市の受け止めと見解は。

市長 ①小川東町三丁目の土地利用構想に係る調整会の協議内容は。また、市民からの要望に対する市の受け止めと見解は。②小川東町二丁目と三丁目に千二百戸超の入居が想定される。小・中学校の教室数への対応は。

質問 ①公共施設マネジメント推進計画の見直しが必要では。②公立保育園の運営のあり方に関する方針改定版は、園の縮減の計画を見直すべきでは。



用語の解説

用語の解説

※1 セットバックとは 道路の拡幅のため、敷地の境界線を後退させること。

※2 キャッチアップ接種とは HPVワクチンの積極的な勧奨の差し控えにより接種機会を逃した人に対して、公平な接種機会を確保する観点から、限定的に従来の定期接種の対象年齢を超えて接種を行うこと。

※3 ペアレントメンターとは メンターとは信頼できる相談相手という意味で、発達障害のある子どもの子育てを経験し、相談支援に関する一定のトレーニングを受けた親のこと。

※4 BIとはBusiness Intelligenceの略語で、自治体や企業等が、蓄積した様々なデータを分析し、政策決定等に役立てるためのツールのこと。

※5 EdTechとは Education(教育)とTechnology(技術)を組み合わせた造語で、テクノロジーを用いて教育を支援する仕組みやサービス等のこと。

請願・陳情

12月定例会では、新たに受理した請願1件、継続審査となっていた請願2件を採択しました。陳情は3件を受理し、全議員及び執行機関に陳情文書表を配付しました。採択した請願の請願事項は次のとおりです。なお、意見書の提出を求める請願は意見書欄に要旨を掲載しています。

小平市に多文化共生まちづくりの取組を求めることについて

1 小平市の現状を鑑みて、外国人・帯同家族への生活支援、外国人相談窓口の創設、児童・生徒の入園、入学手続支援、日本語学習教育等々を含めた総務省通知に基づく包括的な多文化共生を推進するプラン、指針を策定してください。
2 1のプラン、指針の進捗状況
221人

小平市における重度障害者の就労・修学支援の実施を求めることについて

小平市は請願者を含め小平市に住む重度障害者が、重度障害者等就労支援特別事業及び重度訪問介護利用者の大学修学支援

意見書

12月定例会で書付された意見書1件は、関係機関へ送付した。

意見書とは、地方公共団体の公共の利益に関することについて議会としての意見を意見としてまとめ、国会または関係行政庁に文書で提出するものです。(地方自治法第99条)

生産緑地の申請をしている都市農家に対する相続税の負担軽減を図るべく、納税猶予措置適用の拡大の検討を求める意見書

都市農地の景観は市民生活に

事業を迅速に利用できるようにしてください。
請願者 小平市小川東町5丁目 小田 瞳 外376人
潤いを与えるとともに、取れたてで旬の新鮮野菜や果実は直売店等で供給されています。
しかし、市の特定生産緑地は年々減少しており、相続税を農業からの収入だけでは納税できないことが、農地減少の大きな要因と考えられます。都市農家の中には収入を得るためマンションやアパートなど不動産を所有している方もいらっしゃいますが、いざ相続が発生した際には生活の糧であるマンションやアパートを売却するわけにはいかないために、やむを得ず農地を売却している現状があります。都市の貴重な生産緑地は、営

農することを条件に、固定資産税の評価額を低く抑えられ、相続税の納税猶予などを受けることができず、不動産及び自宅内の収穫物の集出荷施設、農機具倉庫、直売所、トイレ、屋根敷等は、納税猶予の対象とならず相続税の課税対象であるため、農家は農地を売らざるを得なくなっています。
よって本市議会は、国会及び関係行政庁に対し、次の事項を求めます。
1 生産緑地の申請をしている都市農家に対する相続税の負担軽減を図るべく、納税猶予措置適用の拡大を検討すること。
衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、農林水産大臣宛て

市民と議会の意見交換会を開催しました

市議会では、令和5年度、2回目の意見交換会を開催しました。9月定例会の報告を行ったのち、各常任委員会の政策課題などをテーマに、市民の皆様と意見交換を行いました。各会場で多くのご意見をいただき、ありがとうございました。開催の概要は以下のとおりです。

環境建設委員会班

「水・みどり・道路・公園 ~身近な環境のお困りごとについて~」
11月6日(月)
午後7時から午後9時まで
小川町二丁目地域センター 集会室
参加者12人



生活文教委員会班

「関東大震災から100年 災害に強いまち小平をめざして」
11月8日(水)
午後7時から午後9時まで
美園地域センター 第一・第二集会室
参加者11人



厚生委員会班

「誰もが安心できる 支え合いの小平を目指して」
11月9日(木)
午後7時から午後9時まで
中央公民館 講座室2
参加者11人



総務委員会班

「人が創る!まちを創る!共に創る!」
11月10日(金)
午後7時から午後9時まで
中央公民館 講座室2
参加者10人



意見交換の内容やいただいたご意見、アンケート結果の詳細については、市議会ホームページのほか、市役所7階議会事務局でもご覧いただけます。今後も、市民の皆様との意見交換の機会を定期的に設けてまいります。多くの方のご参加をお待ちしております。



議会日誌

10月18日~1月16日
本会議、委員会、諸会議など



10月

- 18日 総務委員会行政視察(山口県宇部市、山口県山口市、福岡県古賀市 20日まで)
- 生活文教委員会行政視察(島根県松江市、島根県雲南市、島根県出雲市 20日まで)
- 新潟県長岡市議会議員視察来庁(ふれあい下水道館の取組について)
- 23日 東京都道路整備事業推進大会
- 24日 東京たま広域資源循環組合議会
- 25日 厚生委員会行政視察(北海道函館市、岩手県矢巾町、宮城県仙台市 27日まで)
- 環境建設委員会行政視察(兵庫県神戸市、三重県桑名市、愛知県豊橋市 27日まで)
- 30日 公共施設マネジメント調査特別委員会(稲城市視察)
- 31日 多摩六都科学館組合議会

- 市民と議会の意見交換会
- 9日 厚生委員会(国立市視察)
- 市民と議会の意見交換会
- 10日 環境建設委員会(東大和市視察)
- 市民と議会の意見交換会
- 14日 都市基盤整備調査特別委員会(新宿区視察)
- 16日 小平・村山・大和衛生組合議会
- 17日 幹事長会議
- 20日 湖南衛生組合議会
- 21日 昭和病院企業団議会
- 22日 議会運営委員会
- 28日 12月定例会初日
- 29日 12月定例会2日目(一般質問)
- 30日 12月定例会3日目(一般質問)

12月

- 1日 12月定例会4日目(一般質問)
- 5日 総務委員会
- 6日 生活文教委員会
- 7日 厚生委員会
- 8日 環境建設委員会(市内視察あり)
- 11日 広聴広報特別委員会
- 14日 幹事長会議
- 15日 議会運営委員会
- 20日 12月定例会最終日
- 広聴広報特別委員会

1月

- 11日 狛江市議会議員視察来庁(コミュニティタクシーについて)
- 16日 広聴広報特別委員会

11月

- 6日 幹事長会議
- 議会運営委員会
- 全員協議会
- 東京都十一市競輪事業組合議会
- 東京都四市競艇事業組合議会
- 市民と議会の意見交換会
- 7日 総務委員会(千代田区視察)
- 8日 生活文教委員会

あしがき
12月定例会では、令和5年度一般会計補正予算(第5号)のほか様々な議案について、活発な議論が交わされました。新年を迎え気持ちも新たに、市議会の活動について積極的にお知らせするとともに、分かりやすい紙面づくりに広聴広報特別委員一同努めてまいります。ご意見等がございましたら議会事務局にお寄せください。
〒187-1801 小平市小川町二丁目 1333番地
☎042(346)9566
FAX 042(346)9567

議員の寄附行為や 時候のあいさつ状は 禁止されています
議員は、選挙区内の人に、お金や物を贈ることや、時候のあいさつ状(答礼のための自筆によるものを除く)を出すことは法律で禁止されています。また、議員に対して、これらを求めることも禁止されています。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。
市議会だよりの訂正とおわび
令和5年10月29日発行のこだいら市議会だより第257号において、1面、平橋田中彫刻美術館の企画展名を「彫刻肖像」と記載しましたが、「肖像彫刻」の誤りでした。おわびして訂正します。なお、ホームページのPDF版及び市議会だよりデジタル版につきましては訂正後のものを掲載しています。